

平成21年度第4四半期(1~3月)見通し

<工務店・販売店での需要予測>

平成21年度第4四半期(1~3月)に向けての需要予測がまとまった。

今年度最悪のスタートとなった第1四半期(4~6月)から少しずつ回復傾向を見せていた工務店・販売店の需要予測だが、残念ながら平成21年度の締めくくりは前回第3四半期の需要予測より工務店段階で7.7ポイント、販売店段階で4.2ポイントのダウンと大変厳しい結果になってしまった。

平成20年後半からのサブプライム問題に絡む金融危機が長引き、平成21年は大変厳しい一年だった。工務店・販売店の需要予測のグラフを振り返っても、過去2年間は一時的な仕事量の回復はあるものの、総じて減少傾向となり、平成22年もこの厳しい状況がしばらく続くと思われる。

しかし住宅エコポイントがどの位影響を与えるかは期待すべき点とも言えるので、今後共我々はJKサポートセンターの充実を計り、お客様のお役に立つ営業活動を推進していく。

<主要メーカーによる販売予測>

下記で示す通り前回第3四半期で改善が見られた合板メーカーによる販売予測が、今回は逆に減少予測86.8%とかなりのダウンを予測しており、転じて住設機器メーカーは前回の第3四半期増加予測0%に比べると、5.6%が増加予測をしており、さほど大きな数値はとは言えないが、注目すべき点と言える。

合板	：	増加予測	10.8%	前年並予測	2.4%	減少予測	86.8%
木質建材	：	増加予測	2.2%	前年並予測	14.4%	減少予測	83.4%
窯業・断熱	：	増加予測	8.9%	前年並予測	14.4%	減少予測	76.7%
住設機器	：	増加予測	5.6%	前年並予測	19.4%	減少予測	75.0%

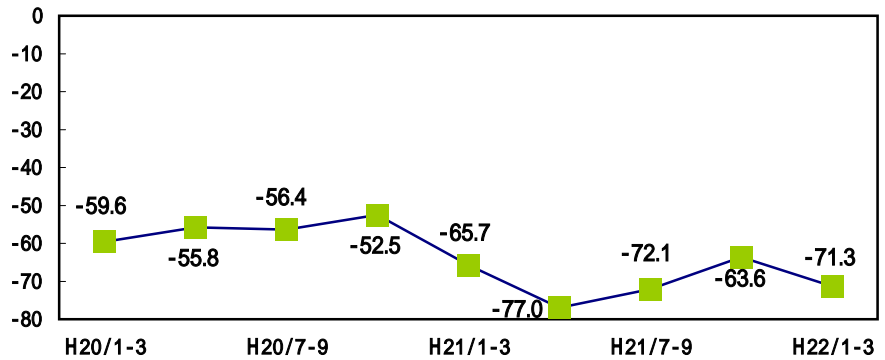
<リフォームの現状>

今回初めて工務店における仕事量に占めるリフォームの割合についてのアンケートを行った。工務店の仕事量の中でリフォームが25%位との回答が687件、26%~50%がリフォームとの回答が947件、51%~75%とリフォームの方が多いとの回答が827件もあり、全体的にかなりリフォームの仕事量の比率が多いことが解る。1物件当りのリフォームの売上も51万~100万位との回答が1000件以上も有り、今後リフォーム向け商品に期待が出来る状況が伺える。

景気動向の推移

過去2年間の仕事量の見通しをポイントで表したグラフ。

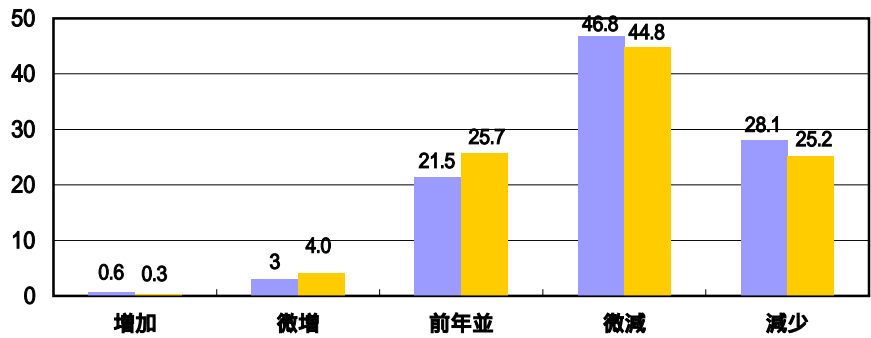
ポイント



地域別需要予測

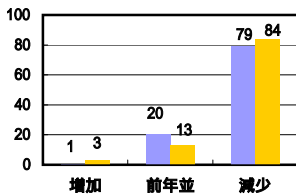
全国 回答数 2,774

「増加」「微増」「前年並」「微減」「減少」の中からお選び頂き、総回答数よりそれぞれの割合を算出致しました。単位は、「%」となります。

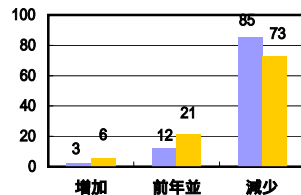


■ 平成21年度 第4四半期
■ 平成20年度 第4四半期

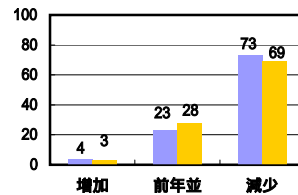
北海道



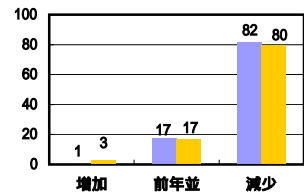
東北



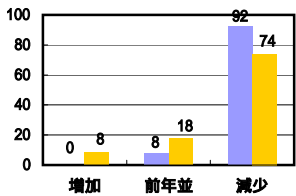
関東



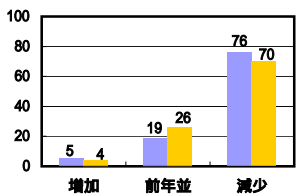
甲信越



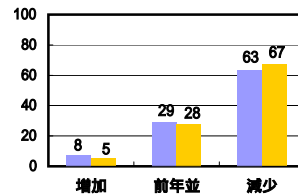
北陸



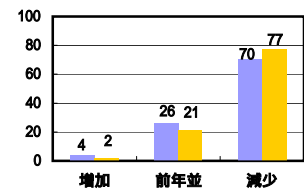
中部



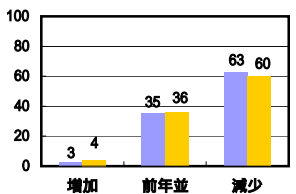
近畿



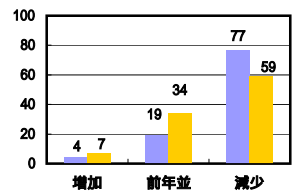
中国



四国



九州



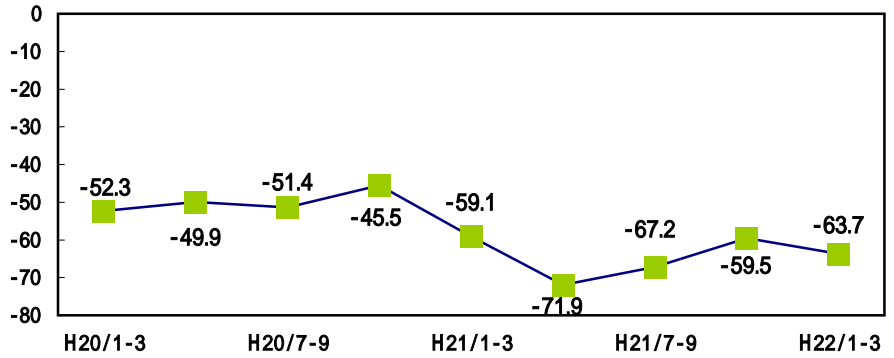
<有効回答数>

北海道	149	中国	148
東北	278	四国	80
関東	983	九州	365
甲信越	206		
北陸	52		
中部	214		
近畿	299		

景気動向の推移

過去2年間の仕事量の見通しをポイントで表したグラフ。

ポイント

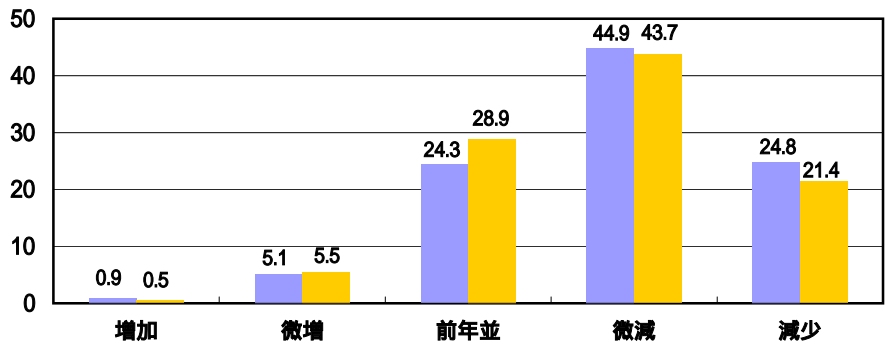


地域別需要予測

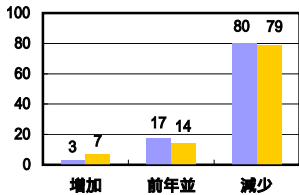
全国 回答数 2,795

「増加」「微増」「前年並」「微減」「減少」の中からお選び頂き、総回答数よりそれぞれの割合を算出致しました。単位は、「%」となります。

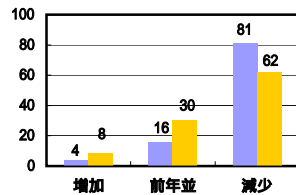
■ 平成21年度 第4四半期
■ 平成20年度 第4四半期



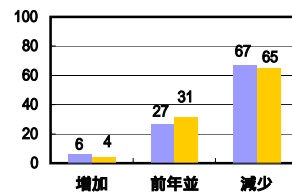
北海道



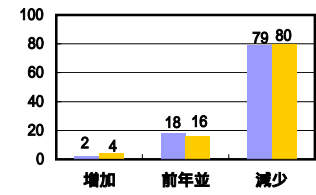
東北



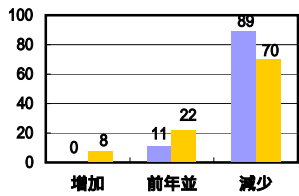
関東



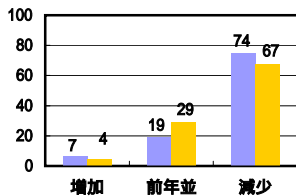
甲信越



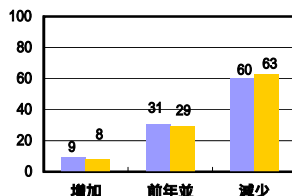
北陸



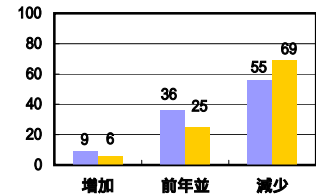
中部



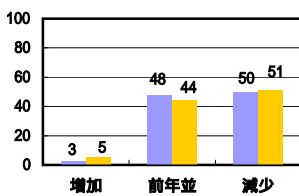
近畿



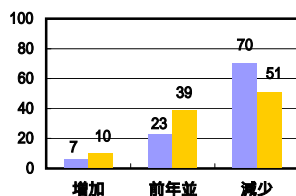
中国



四国



九州



<有効回答数>

北海道	150	中国	148
東北	280	四国	80
関東	991	九州	367
甲信越	206		
北陸	55		
中部	215		
近畿	303		